

議会だより

伊那市議会事務局
TEL 0265-968149
FAX 0265-769117
E-mail: gk@nacty.jp

Vol.64

各常任委員会の2年間の活動報告(2)

当市議会には、議会運営委員会と総務文教委員会、社会委員会、経済建設委員会の3つの常任委員会が設置されています。

平成28年5月から、約2年間にわたり活動してきました。前号に引き続き、2つの委員会の活動内容を報告します。

●社会委員会

平成28年度社会委員会は、市民と議会との意見交換会のテーマを、「子育てしやすいまちづくり」と決め活動しました。

意見交換会では、市民の方々から、伊那市の保育園定員基準は現状に即していないとの意見がありました。こうした問題の打開のために、「日本一の子育て村」を目指している島根県邑南町を行政視察しました。邑南町は、「第2子以降の保育料は無料」「中学生まで医療費は無料」「どんなに園児が減っても地域が不要と

言わない限り保育園を廃園にしない」等の政策に取り組んだところ、子育て世代も含めた移住者が増え、人口減少が鈍化してきたとのことでした。

また、高遠、長谷、新山、伊那西部の各小規模保育園関係者と懇談を続ける中で、市から廃園通知を受けた、伊那西部保育園の地元各区と関係保護者会から「存続に関する要望書」が議長と市長に提出されました。

そこで、社会委員会は「市の保育園定員基準は見直すべき」との結論を出し、市議会の総意で「休園中の伊那西部保育園は地

域住民の取り組みを見守る必要がある」と市長に提言し、一旦は廃園の危機は避けられました。

29年度の市民と議会との意見交換会のテーマは、「安心して暮らし続けるための地域づくり」と決め、事前研修で、市社協、民生児童委員、買い物支援者、保護司の皆さんと懇談して、現状把握に努めました。

意見交換会では、買い物・交通弱者支援策が必要との意見が多く出されました。

「保育園の定員基準」や「買い物・交通弱者対策」等の早期対応の必要性を痛感した2年間で



意見交換会の様子

●経済建設委員会

伊那市では数多くの事業が実施されています。当委員会が審議等に関わった、主な事業の動向

を報告します。

まず、平成28年度から取組みを進めている新産業技術推進事業については、推進テーマの一つとして、『スマート農業』の作業部会を設置し、高齢化に伴う担い手不足の解消、遊休荒廃農地の縮減などを目指して、調査・研究を行っています。29年度は、農業用機械の自動運行や自動給水栓のデモンストレーションを行い、今後の実証実験導入へ向けて検証を進めました。

次に企業誘致の関係では、2年間で5件の用地売買契約が成立しました。これらすべての企業が操業を始める、新たに100名余の雇用が期待されます。平成16年度から平成29年度までの間、市内9つの工業団地(伊那インター・鳥居沢・六道原ほか)の31区画を24の企業に提供しましたが、この他にも3区画の申し込みを受けています。これらが成立すると、残っている区画は1区画のみとなり、更なる企業誘致を進めるためには、新たな土地を確保する必要があります。

次に市内の道路整備の状況ですが、市民と議会との意見交換会で市の活性化に活かすビジョン策定を求められていた小黒川スマートインターチェンジが平成29

年9月30日に供用開始となりました。周辺の開発には規制がかかり、市街地への利便性が高まり、さらなる開通効果が期待されます。また、環状南線は、平成32年度完成に向けて、環状北線、国道153号伊那バイパス、国道152号栗田・四日市場工区は県事業として、それぞれ工事が進められています。

今後も事業の進捗等を注視するとともに、必要に応じて提言も行っていきます。



小黒川スマートインターチェンジ

●お知らせ

第3回市民と議会との意見交換会の報告書を3月1日に発行しました。市役所、総合支所、支所、図書館で閲覧できます。伊那市公式ホームページでも公開しています。是非ご覧ください。